

平成 29 年度第 1 回航空ネットワーク検討会議 議事概要

1 日時

平成 29 年 6 月 16 日（金）13 時 00 分～15 時 00 分

2 場所

TKP 札幌駅カンファレンスセンター 3 階 カンファレンスルーム 3C

3 出席者

出席者名簿のとおり

4 議事概要

(1) 委員長選任

委員の中から石井委員を委員長に選任

(2) 航空ネットワーク検討会議の進め方について

事務局から説明

(3) 航空ネットワークに関する新たなビジョン（仮称）策定の論点等について

事務局から説明後、意見交換

【主な意見】

- 双方向での需要がないと長期的な路線の維持は難しい。
- 道内路線はマーケティング的なアプローチが不足している。
- エアライン、空港会社、二次交通機関等の地元企業、地元自治体等の 4 者間の連携により誘客を図ることを重視。
- 既存のフルサービスキャリアの底上げと、LCC をどう位置づけてもっと身近なものにしていくか。
- 道央圏を訪れる観光客をいかに道内各地に分散化させるか。
- 滞在型観光といった新しい旅スタイルの構築が課題。
- 荒天時における運航状況等のお客様への周知ができていない。
- 二次交通を考える場合、JR、バス、レンタカーに加え、タクシーも必要。
- 多種多様な 6 次交通観光の体現化が大きなテーマ。
- 稚内を訪れる観光客がチャーター便で道東に移動するなど、アイランドホッピングのようなネットワークの構築ができるのではないか。
- 民間委託空港と非民間委託空港の連携が課題。
- 航空貨物について、新千歳空港の広さや冷蔵・冷凍施設が十分か議論が必要。
- ビジョンには従来にとらわれない発想で色々なものを書いていくべき。